

とめ 市議会だより

2010
第20号
4月20日

小笠原流「^{ひきめ}墓^ぎ目の儀」を奉納
登米弓道会



目次

予算総額752億5,877万円を可決	2
会派代表質問	8
ここが聞きたい(一般質問)【19人登壇】	10
常任委員会活動報告	20

撮影 守屋 博さん(豊里)
場所 教育資料館前(登米)

とめ市議会だより 第20号

平成22年4月20日発行

発行/宮城県登米市議会 〒987-0595 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
編集/登米市議会報編集特別委員会 ☎0220-22-1913 FAX0220-22-9225



とめ市議会だより 表紙写真を大募集

登米市議会では、年4回発行している「とめ市議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。奮ってのご応募お待ちしております。

- テーマ
登米市内の「元気に輝いている人」とし、分野は限定しません。
- 規格
未発表、未公開のオリジナル写真とします。
プリントの場合はL版以上。電子データの場合は、500万画素以上でJPG形式のものでお願いします。
- 応募方法
住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の題名とその説明を添えて、議会事務局までお送りください。
電子メールでの応募の場合、メールタイトルは「議会だより表紙写真」としてください。なお、写真は随時受付いたします。
- 送付・問い合わせ先
〒987-0595
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
登米市議会事務局
電話 0220-22-1913 メールアドレス gikajimu@city.tome.miyagi.jp



表紙写真
登米弓道会の会員は43名で伝統の継承にも力を入れ、登米秋まつりの宵まつりで1985年から古来の儀式「墓目の儀」を奉納している。射手は会長の海老名和夫氏。

これまでご応募いただいた写真をご紹介します。



「米川の水かぶり」和田伸一さん(迫)



「稽古に励む剣士たち」森剣友会(迫)



「ニュースポーツ・キンボール」スポーツクラブみなみかた(南方)

議会がらのお知らせ

市議会第2回定例会

6月17日(木) 開会予定

議会は市政を知るよい機会です。
お気軽に傍聴してください。

議会のホームページを
開設しています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

あとがき

第1回定例会は、2月4日から27日間の会期で行われました。22年度の総額予算は752億円、一般会計は395億円の規模となりました。この間、バンクーバーでは冬季五輪が開催されており、多くの選手の皆さんのすばらしいパフォーマンスに感動し、「夢と希望と勇気」をいただいた気がいたします。今、日本も世界も、政治経済文化道徳など、

あらゆる分野でさまざまな問題が起きており、夢と希望と目標」を持てる社会を作っていくことが大切と感じた五輪でもありました。(伊藤 吉浩)

議長	中澤 宏
副議長	佐藤 尚哉
委員	田口 久義
委員	関 孝
委員	伊藤 吉浩
委員	工藤 淳子
委員	岩淵 正宏
委員	田口 政信

議会報編集特別委員会

地域医療確立調査特別委員会を設置

本件は議員提案として提出され、「地域医療を守るのは自治体の責務であり、地域医療の整備なくして地域の安定や活性化は果せない」と考える。議会においても地域医療に関する諸問題について必要な調査・検討を行い、市民が安心して暮らせる地域医療の確立を図るとともに、市立病院の健全化を推進していく必要がある。」との説明があり、原案のとおり可決しました。

また、委員長に沼倉利光議員、副委員長に中澤宏議員を選出しました。



伊藤吉浩 菅原幸夫
佐藤 勝 中澤 宏
佐藤 恵喜 〇中澤 宏
関 孝 ◎沼倉利光
岩淵 勇一 浅野 敬
岩淵 正宏
【委員長】 〇副委員長
地域医療に関する市民の皆さんのご意見を、議会事務局までお寄せください。



平成22年
第1回定例会

【平成22年度各種会計の予算額】

会計名	予算額	前年度比(%)
一般会計	394億9,595万円	2.7
特別会計		
国民健康保険	101億7,945万円	3.9
老人保健	627万円	△89.9
後期高齢者医療	8億4,339万円	14.5
介護保険	65億8,056万円	1.9
土地取得	1,251万円	468.9
下水道事業	48億8,131万円	△8.0
宅地造成事業	2,667万円	△74.3
小計	225億3,016万円	0.3
企業会計		
水道事業	32億 181万円	△8.8
病院事業	96億4,752万円	10.8
老人保健施設事業	3億8,333万円	4.6
小計	132億3,266万円	5.2
合計	752億5,877万円	2.4

平成22年度第1回定例会は2月4日に招集され、3月2日までの27日間の会期で開催しました。本定例会には、22年度各会計当初予算案（11件）をはじめ45議案が提出され慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり同意・可決。また、地域医療全般に関する事項の調査・検討を行うため、地域医療確立調査特別委員会の設置も可決しました。

予算審査は、予算審査特別委員会（委員長 浅田修議員、副委員長 中澤宏議員）を設置して付託。市長の施政方針に対し、4会派の代表が質問を行い、一般質問は19人の議員が市政を質しました。

平成22年度の予算編成は、昨今の社会的状況を踏まえ、経常経費を削減し、政策経費を確保するため、一般行政経費は、枠配分方式の予算編成手法を継続して削減。政策経費では、新たに新規政策事業の予算枠を確保した予算編成手法を導入し、所信表明や政策公約の実現に向けた「新規事業」や「事業の拡充」を対象に、市民の視点に立った事業や地域の課題解決を図る事業などを厳選し、真に必要な事業に重点的に配分することを基本としています。

一般会計では 395億円を計上

当初予算の規模は、一般会計が、前年度当初予算対比2.7%増の394億9595万円、国民健康保険特別会計など7特別会計予算の総額は、同0.3%増の225億3016万円、病院事業など3公

平成22年度各会計予算
総額752億5877万円を可決
前年度対比 2.4%増



営企業会計予算の総額は、同5.2%増の132億3266万円となり、全会計を合わせた予算総額は、同2.4%増の752億5877万円となっています。

（1万円未満は四捨五入）

一般会計歳入

一般財源として市税65億9778万円、地方交付税176億7700万円を見込み、特定財源として国県支出金59億478万円、市債45億7910万円、各種特定目的基金から3126万円を繰入れ、財源不足分は財政調整基金からの繰入金8億2557万円

一般会計歳出

を計上しています。

コミュニティFM活用事業326万円、協働のまちづくりに地域交付金事業900万円、住宅用太陽光発電システム設置補助事業2000万円、水田作等低コスト化安全安心事業2145万円、ビジネスチャンス支援事業2000万円、地域材需要拡大支援事業1500万円、企業活動支援事業833万円、物産ステツプアップ事業2083万円、地域密着型特別養護老人ホーム整備事業4億2750万円、上沼小学校大規模改造事業1億8458万円、左沼小学校改築事業6213万円、道路新設改良事業18億4700万円のほか、病院事業会計への繰入金17億9916万円などを計上しています。

議員の費用弁償・政務調査費を減額

■登米市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

■登米市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

討論

■登米市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

隣の栗原市では1500円の費用弁償を廃止した。県内でも日額支給を残しているのは仙台市、名取市と本市だけであり、反対する。 工藤淳子議員

■登米市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

議会改革特別委員会委員として議論を深めてきたが、月額2万円に届かず大変残念だ。市民から寄せられる声から判断しても納得できないので反対する。 佐藤尚哉議員

議員の費用弁償（日額）

職名	改正前	改正後
議長	2,000円	1,000円
副議長		

政務調査費（月額）

	改正前	改正後
政務調査費	30,000円	25,000円

本件は、本市議会議員の費用弁償と政務調査費の見直しについて、議会改革調査特別委員会において、調査・検討・議論を重ねた結果、それぞれ引下げを行うため、議員提案として提出され、起立多数で可決しました。

この改正により議員の費用弁償及び政務調査費が次のように減額されます。

（22年4月1日から施行）

費用弁償：交通費や旅費などその職務を行うために要する費用の弁償。

政務調査費：議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもの。



登米市の予算

22年度当初予算 総括質疑

当初予算に関する質疑が行われました。
要約してお知らせします。



予算審査を進める浅田委員長

一般会計

歳入

- Q 公営住宅使用料滞納額2300万円の今後の解消策は。
- A 退去手続も含め分納誓約を基本に返済実施を進める。
- Q 保育料滞納については子ども手当で相殺できないか。
- A 国の法案議決後考える。
- Q 臨時財政対策債の金利、本市における起債の借り換えの状況、社会資本整備交付金の中身は。
- A 金利は相当低いものになると期待している。借り換え対象金利は6%から5%以上

歳出

- Q 市政施行5周年記念事業で、市の花・鳥・木を選定する意義と方法は。
- A 市のシンボルとしての選定で市民の一体感を作り出す。合併市で決めていないのは当市と大崎市だけである。市民を対象に募集する。
- Q 協働事業交付金で各支所100万円の予算は、どのような形で運用方法を考えているのか。

修正動議
コミュニティFM市政情報等放送委託料326万4千円を歳出より減額し、同額を歳入の基金繰入金で減額する。



屋根付停留所

Q 市民バス停留所に屋根設置の事業は、佐沼病院前2カ所、豊里病院前1カ所だが、高校前にも必要ではないか。また、市民協働の中で取り組みは可能か。

討論

原案賛成
自らの地域は、自らの力とする協働のまちづくりのほか、サービスの受け手として市民が、つくり手として動き出すための支援、新しい公共を市民とともに作り出す政策が多く、社会情勢、地域の課題や市民の苦しみ、希望に対応したメリハリのある予算になっている。

原案および修正案反対
子ども医療費の無料化拡大、国保税の法定外繰り入れ、病院再建を図るため医師招聘室の設置を求める。学校給食業務民間委託の拡大に反対。

修正案賛成
委託先となる事業者の経営

健全財政へ向けての努力は
田口久義議員
Q 過大な財政規模は財政危機要素も多く抱えると思うが。

市債償還の見直しは
佐藤 勝議員
Q 本市の特例債発行額は。

と他地域に比べ高すぎるが。
A 産科、小児科の休止等による医療収益の減少等が原因。
Q 職員給与の町域毎の格差は是正への取り組みは。

ているが、更に随時措置する。
Q 女性管理職の積極的登用は。



コミュニティFM開局 (76.7MHz)

Q コミュニティFMへの326万円の委託料は、室内可聴エリアが30%にも満たない段階での計上である。まだスタートもしていない状況で、委託料を払うことは不適正ではないか。

後期高齢者医療
後期高齢者医療保険は速やかに廃止をし、保険料の大幅な値上げは、高齢者と市民に重くなることから反対する。

病院事業
Q 医療体制の見直し、収支改善の方向は。

議案審議

第1回定例会で審議された内容のいくつかを要約してお知らせします。

指定管理者の指定について

▽米山公民館、米山農村環境改善センター→西野コミュニティ運営協議会
▽吉田公民館、吉田体育館、善王寺コミュニティセンター→吉田コミュニティ運営協議会
▽中津山公民館→中津山コミュニティ運営協議会

てきたが、役員さん方に窮屈な思いをさせた。
Q 不慮の事故等の賠償責任はどうなるのか。
A 市の施設の欠陥、管理責任等の場合は市が負担し、軽微なものは受託者が負担する。

Q 社会教育、生涯教育の教育部局の業務を民間の方々に担っていただくための連絡調整はどうするのか。
A 社会教育主事を配置し、巡回指導や研修会等で職員のスキルアップをしていく。

Q 米山地区の中央公民館的な役割は、どこが果たすのか。
A それぞれの館が自主的な活動をいき、3地区の協議会で調整していく。

Q 管理施設数、地区戸数等条件に差異があるのに、職員体制が均一であるが大丈夫か。
A 受託者と協議をし、付帯施設については委託料で調整し、均一・均質な事業を展開することとしている。

Q 各地区にグラウンドや体育館があるが、管理はどうする。
A 指定管理の方向に準備しているが、当面、直営で管理する。

Q 災害時の避難場所の位置づけを受託者にどう負わせるのか。
A 事前の協議で支障がないことを確認しており、有事の場合は連絡、連携体制を整理していく。

Q 婦人会、老人クラブ等団体の事務局はどうする。
A 団体指導は、教育事務所で行い、事務的な部分は今後整理していく。

Q 協働社会論の母体・役割をコミュニティ運営協議会に担わせ、社会教育分野の公教育を担うことになることの整合性をどう考えるのか。
A 公民館の指定管理が目的ではなく、生涯学習社会の構築、実現を目指すものであり、最終のゴールは、社会教育行政も協働のまちづくりも同じと認識している。

Q 職員研修として、宮城大学の大学院に1名派遣を予定しているが、その目的は。
A 産業経済部に長期間勤務する職員で、市の食産業の振興に活かしてもらおう。

Q 個室ビデオ店の火災の際避難が困難だったことによる事故によって今回改正される。具体的にはどこがどう変わったのか。
A 提案理由に「全国的に個室ビデオ等の防火安全対策に係る対応を改め、火災予防の統一的な運用を図ることから条例の一部を改正するもの。」



指定管理される吉田公民館

基金条例の一部を改正する条例について

Q 避難通路に面した戸が外開き戸の場合、自動閉鎖式でなければならぬ。または、壁と開いた戸の先端の間が60cm以上なければならぬ。60cmという基準は、人が一人通行できる幅である。
A 提案理由に「定住促進住宅使用料の一部を積み立て、定住促進住宅の整備に充てることを目的とした「登米市定住促進住宅整備基金」を設置するため、基金条例の一部を改正する条例の一部を改正するもの。」

火災予防条例の一部を改正する条例について

提案理由に「全国的に個室ビデオ等の防火安全対策に係る対応を改め、火災予防の統一的な運用を図ることから条例の一部を改正するもの。」

Q 定住促進住宅の利用状況と、基金の積み立て額は市長の定める額とあるが内容は。
A 現在、5カ所10棟260戸のうち入居率は52%位である。積立額については家賃収入から必要経費を差引くと、1500万円位の残余金が出ると試算しているが、来年度の決算段階で市長の判断で基金の額を決めることになる。

豊里鴉波コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について

提案理由に「豊里鴉波コミュニティセンターに設置されているゲートボール場について、他の類似施設の使用料との均衡を図るため条例の一部を改正するもの。」

Q 類似施設のゲートボール場は市内に何カ所あるのか。
A 新田の総合運動場と梅ノ木グリーンパークの2カ所にある。
Q 使用料は屋内1面3000円、屋外2000円とあるが減免の状況は。
A 地元のゲートボール協会の方々の利用については減免対象の団体に該当しているが今後無料になる。



鴉波ゲートボール場

議案審議 補正予算

国の2次補正等の事業を計上し、一般会計予算の総額は444億1854万円に

一般会計補正予算(8号・9号)歳出の主なもの (1万円未満四捨五入)

事業内容	金額
有機センター修繕事業	4,199万円
中田農村環境改善センター多目的ホール照明設備改修事業	3,242万円
旧新田第一小学校校舎等解体事業	7,900万円
登米祝祭劇場防水対策事業	2,903万円
東和高齢者福祉施設スプリンクラー整備事業	4,511万円
こじか園改修事業	3,680万円
迫保健センターアスベスト除去及び屋根等改修事業	2,790万円
道路舗装補修・整備事業	5,690万円
豊里小中学校屋内運動場屋根外壁改修事業	8,000万円
中田総合体育館屋根塗装事業	2,575万円

一般会計

Q 農業者年金の加入状況は。
A 20年度末で463名、宮城県内では2940名で、全国的に低い状況にある。
Q 学校給食の未払いはどのくらいか。またその対策は。
A 過年度で4000万円、現年度で200万円弱の未収金がある。強化月間を設けて、特に卒業する子どもたちが未納のまま卒業しないように取り組んでいる。

Q 職員研修として、宮城大学の大学院に1名派遣を予定しているが、その目的は。
A 産業経済部に長期間勤務する職員で、市の食産業の振興に活かしてもらおう。
Q 石越のチャチャワールドの施設整備に2000万円の予算を計上しているが、今後の経営戦略は。
A 経営が厳しく累積赤字が多いことから、19年に経営改善計画を策定し、現在実行中である。20年度は、単年度収



ポンテザール(芸術橋)

Q 夏川ポンテザール(芸術橋)補修工事1100万円の内容は。
A 一部補強もあるが、色あせた塗装のやり直しである。
Q 防犯灯が170基設置されるが、市民の要望にこたえられるか。また、昼間でも点灯したままのものが見られる。むだであり、点検すべきだ。
A 各総合支所等に要望のあるほぼ全部を整備できる。今年度末で7881基の設置数であり、すべての管理が困難の場合がある。市民の皆さんや防犯協会、区長さん方の報告により修繕している。

会派代表質問

第1回定例会において、市長から22年度の施政方針が表明され、4会派の代表が質問をしました。内容を要約してお知らせします。



日本共産党市議団
佐藤 恵喜 議員

問 高すぎる国保税の引き下げを
答 基金崩して増税を避けてきた

問 国保税滞納世帯は2割(県国保医療課調べ21年6月現在)を超えた。年平均所得に対する保険料負担率は、健康保険で4・1%(全国健保連、19年度見込み)。これに対して本市の国保税の負担率は8・56%。所得が少ない上に保険税は健康保険の倍以上。これでは払いたくても払えない。国負担金を元に戻させ、他自治体が実施している一般会計からの法定外繰入を本市でも行い、国保税の引き下げをすべきだが。

答 国保制度は相互扶助が基本。国保事業に要する費用の

問 国保税滞納世帯は2割(県国保医療課調べ21年6月現在)を超えた。年平均所得に対する保険料負担率は、健康保険で4・1%(全国健保連、19年度見込み)。これに対して本市の国保税の負担率は8・56%。所得が少ない上に保険税は健康保険の倍以上。これでは払いたくても払えない。国負担金を元に戻させ、他自治体が実施している一般会計からの法定外繰入を本市でも行い、国保税の引き下げをすべきだが。

答 国保制度は相互扶助が基本。国保事業に要する費用の

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係



新・立志の会
岩淵 正宏 議員

問 施政方針実現に向けた予算規模は
答 税収の大幅減を臨財債増で対処

問 市民の視点に立った事業を厳選し、真に必要な事業に重点的に配分したとあるが、標準財政規模から見ると、背伸びした予算編成ではないか。

答 歳入では、経済情勢を考慮し市税減を見込み、財源不足を補うための臨時財政対策債を49・7%増とした。病院事業への繰出しの増はあるが背伸びした予算編成ではない。

問 20億円を超える病院への繰出しをいつまで措置するのか、また、それに伴う投資的

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係



登米みらい21
及川 昌憲 議員

問 視界不良、地域の自立
答 目指す段階、理念から実践

問 行政評価は政策の品質向上、成果重視の行政運営への転換、説明責任の向上などを目的として導入した。

答 市政運営について、三つの柱を基本に進めるとあるが、地域の自立を目指すとき、政策推進にあたり、これまでの行政評価の結果をどのように生かし、政策設計をしていくのか伺う。

問 産業振興は、雇用と定住と活力を生み出す原動力である。潜在資源を地域活力へ変換する仕組みと連携する具体策は。定住促進については、市民

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係



登米フォーラム
伊藤 栄 議員

問 病院改革プラン見直しの理由は
答 時間外での医師の負担軽減のため

問 医師の過重労働と退職等により改革プランが見直しされたが、その実態はどうなっているか。また、登米診療所は建て替えの予定だが、現在の医療機器はどうなるのか。また、跡地利用について伺う。

答 救急告示病院は佐沼、豊里、米谷病院。9カ月間で4180件、救急車では573件を佐沼病院で受け入れている。米谷病院を23年度から計画どおり診療所化した場合、年間約1000件前後の時間外患者を佐沼病院で受け入れることになり、医師の負担増

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係

問 協働のまちづくり交付金は十分か

答 行政の手抜きのための交付金であってはならない。市長は「力を存分に発揮するステージに」というが、地域が頑張るほど、予算枠が不足する。その時の対処は。

問 自立性の高い住民自治の実現を目標とする。本年度の財源は定率負担金等の収入以外は、被保険者が負担する保険料で運営することが基本だ。

問 医師招聘対策室を設置すべきでは

答 病院事業管理者の仕事は優秀な医師を招聘すること。そのために医師招聘対策室を設置し、現場の医師の声をよく聞くこと、医師の雑務を分担する医療秘書を付けること、医師報酬の引き上げを。

問 非常勤職員の処遇改善を

答 保育士など非常勤職員の賃金は年間170万円前後。正職員化こそ、市が取り組む何よりの雇用と地域経済活性化策だ。

問 非常勤職員の処遇改善については、総務省見解を踏まえ、国や他市の状況を注視して検討する。

その他質問
▼教育関係

市政

こころが聞きたい

一般質問は、2月15日から4日間、19人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。
 (紙面の都合により内容を要約してお知らせします)
 ※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問



市指定無形民俗文化財「佐沼鹿踊」

問 文化芸術振興に積極的取組みを

答 市民参加の芸術・文化活動を推進

問 本市の各町域でそれぞれ多彩な伝統文化芸術活動が展開されている。文化芸術の持つ公共性や



佐藤 勝 議員

経済波及効果の上からも、その価値を見つめ直し発展させながら後世に伝えるべきとの認識から、以下について伺う。
 ①本市でも「文化芸術振興条例」を定め、文化芸術の振興に一層の力を注ぐべきと考えるがどうか。
 ②各町域の文化財はもはや市全体の共有財産と考

える。将来に向けて全市的な歴史博物館の整備運営が必要と思うが。
 ③各地で発掘した遺跡、埋蔵品を一堂で展示できる場を考えてはどうか。
 ④市内で活躍中の文化芸術団体で保存・活用している多くの文化財をパネル等にして紹介しては。
答 ①芸術文化の再認識と拡充が現代の潮流と認識する。市では教育基本方針に基づき、芸術文化の充実を図る中で条例制定について検討していく。

②緊急雇用職員で文化財を整理し、一時的に特定の場所に集めた。今後の展示活用については、学校統合等で未活用の施設の有効活用も併せて検討する。
 ③遺跡等は県の所管であり、発掘後一時的展示をし、調査研究の過程を踏み、保存活用が進められる。
 ④各町域の文化財を何点か保護委員に抽出してもらい、登米市50選という形で紹介したい。

問 小・中一人校長制導入について

答 連続性のある教育に取り組む



相澤吉悦 議員

問 市長は、義務教育の9年間を一つのスパンとして捉え、22年度から新田小・中学校において一

人校長制を導入すると言っているが、それを導入してどのようなメリットがあるのか。
答 9年間一貫した教職員の子童・生徒理解や、長期間にわたっての責任の増幅などがある。
問 目の行き届かない場合も出てくるのでは。
答 佐沼中学校の生徒数

も530人であることから、一人校長制でも十分目は届くものと考えられる。
問 小・中連続性のある教育とは具体的に何か。
答 学習面では、一部教科専科制の導入や教科担任制とT・T指導の導入。活動面では、小・中合同の避難訓練や、全体集会・縦割り集会・遠足などである。
問 PTAに対して押しつけになっていないか。
答 両校のPTA会長・役員の方々の熱い思いに

後押しされ、導入に至ったものである。
問 納税貯蓄組合について、市税の定期集金を行い収納率向上に努めている税務嘱託員(納税組合長)と納税貯蓄組合に対し、市として何らかの支援をすべきと思うが。
答 実質的に各地域の納税組合等に、市としてどのような援助、あるいは支援を行えばいいのか、今後、納税組合連合会と十分議論し検討していく。



新田小学校の卒業式

問 病院への繰入金8年間で157億円

答 いろんな視点で経営健全化を図る



沼倉利光 議員

問 病院改革プランの見直し案は、市の地域医療を守るべき安心・安全のための最良の案と思われ

る改善点を伺う。
答 改革プランでは診療所化と再編。佐沼病院へ医師を集約し診療体制の強化を図る計画だが、集約が困難と判断した。医療収支改善のため一般会計からの繰入金は20年度から23年度までの4年間で、21億3000万円多

り、資本的収支を加えると総額で24億7000万円多い79億9000万円となる。
問 55億円から総額25億円も増えて当然という感覚では困る。24年度から27年までに77億3900万円、8年間で157億3700万円も繰入する。これが経営健全化か。市は23年目標の人員費比率が57%、栗原市は52・3%である。改善すべきと思うが伺う。
答 今後も給与水準の引き上げ、人件費の削減に積

極的に取り組み、さらには、経営形態の見直しを慎重に検討する。
問 米谷病院は医療体制で佐沼病院に過重な負担がかかるので2年間残すところか、3年後はどうか。
答 米谷病院はその役割を担っていただく必要があり、医師の充足なり経営状況を踏まえ考える。



地域医療講演会



水道お客様センター4月1日オープン

問 市民税、国保税、下水道料金等、値下げや優遇措置等を実施すれば画期的なことであり、大



田口久義 議員

問 各種料金値下げはできないか
答 税の使途運用の中で考える

きな市民サービスにつながると思うがどうか。
答 水道料金は施設の更新等を抱えており、値下げはできないが、値上げしないよう努力する。国保税については、今後先進事例等を研究する。
問 財政難の負担を市民に委ねていないか。値下げするぐらいの気概で取

り組めないか。
答 現状は一般会計からの繰入れがあつての、事業実施が実態である。更に受益者負担を削ると、政策予算がとれないなど、厳しい面がある。税の使途運用の中で考えていく。
問 少なくとも値上げの際は、あらゆる手段で市民へ説明責任を果たすべきと思う。それが市民の理解につながると思うが、

十分留意をし、今後取り組んでいく。
問 ハード面を整えることも大切であるが、市民に信頼されるソフト面の取り組み姿勢、トップリーダーの確立も含めどのように考えているか。
答 プランに挙げている課題について、目標の設定や、どう取り組むかについて、運営委員会で議論を進めている。今後、市民に信頼され、安心の拠点となるよう取り組みを進めていく。

問 市立病院改革プランの中で、人間ドックや各種検診の取り扱い件数増を図るとする一方、人員



二階堂一男 議員

問 市立病院の増収対策は
答 人間ドックや検診、検査件数増で

削減も図るとしているが両立しないのでは。また、がん検診率向上と併せ肺がんや膵臓がん等の検診精度の向上が必要と思うがどう考える。
答 病院事業管理者 市立病院には、人間ドックや検診業務に特化したセンター等がないことや、医師不足で専任の医師配

置も困難な状況の下、一日の受け入れ可能な人数に限りがあるため、利用者的大幅増は難しい。今後、重要課題として市民生活部と連携し、1000件位できるよう取り組んでいきたい。
答 市長 現在30%台の各種がん検診率を、24年までに50%に引き上げることを目標に、受診体制の整備を図っていく。また、発見されにくいがんの検診精度向上については、高度な医療機器や技

術を持った機関で対応せざるを得ない現状である。
問 地域新エネルギービジョンについて伺う。
答 各界の代表による策定委員会での検討の結果、風力発電は難しいが、木質バイオマスの導入が有効とのことであり検討していく。太陽光発電については、今後も普及促進に努めていきたい。



太陽光発電

その他の質問
●里山再生事業について



石越駅周辺

問 国土交通省では、環境にやさしく大量輸送が可能な海運や鉄道輸送が見直され、輸送形態を変



金野静男 議員

問 石越駅を拠点に総合物流基地を
答 大事業なので情報収集し分析する

えた物流のハブ基地化が模索されている。15年に関東自動車金ヶ崎町に、前後して若柳町にセントラル自動車、今年も大衡村にセントラル自動車が進出し、関連企業の進出も相次いでいる。石越駅はこれら企業の中間の位置にあり、東北道・三陸道とのアクセスも良く、

鉄道利用の物流拠点の条件は他に負けないものがある。総合物流基地を誘致してはどうか。
答 県内では、美里町が20年10月に物流拠点調査研究懇話会を立ち上げている。石越駅は北上市・大衡村の中間に位置し、東北道金成IC・三陸道登米IC、計画中のみやぎ東北高速幹線道路等の基幹道路網にも恵まれている。この構想は、国の物流の施策動向を見据え、国・県・近隣自治体・荷

主・物流事業者・JR貨物等、社会全体での取り組みが求められる一大事業なので、関係機関と連携した情報収集に努め、実現の可能性に向けて、慎重に分析していきたい。
問 支所に「まちづくり交付金」が交付されるが、活用に向けて行政長官はじめ、地域で活動している市民で「地域づくり委員会」をつくり、地域が抱える課題に対応したい。

問 市立病院は、本市医療の重要な役割を果たしているが、特に近年、病院を取り巻く経営環境は



小野寺金太郎 議員

問 健全経営の改革プランか
答 医療の確保と経営の改善が急務

極めて厳しい。一般会計から病院会計への繰入額は年々多額となり、財政を圧迫している。今回の改革プランの見直しで健全経営ができるか伺う。
答 必要な地域医療体制を確保しながら病院経営の改善も図らなければならぬという課題がある。そのためには一定期間一

定程度の財政措置は必要と判断した。
問 ①外部の有識者の助言を得ているか。②繰出し基準は守れるか。③黒字化目標年度はいつか。④地方独立法人へ見直す考えはないか。
答 ①外部有識者検討組織は設置していない。②改革プランに基づき経費の削減と収入確保に努める。③23年度での収支の黒字化をめざしている。④経営形態を変更する場合は24年度から移行する

こととしている。
問 消防5出張所の整備が計画されているが、広域事業をそのまま受け継ぐ形態になっている。今後を見据え、1署5出張所から、1署3出張所に計画変更の考えはないか。
答 政策会議で協議・検討した結果、市民の安全・安心を確保するための消防体制は、1署5出張所と判断した。



登米市管内の消防署・出張所



米戸別所得補償制度説明会



工藤淳子 議員

問 中小企業の仕事確保につなげようと、各地で住宅リフォーム制度の創設が進んでいる。宮城県

問 住宅リフォームの創設を

答 経済効果を検証し、検討していく

では、今年初めて石巻市で実施される予定である。登米市でも、この制度を創設して中小企業を支援していくことが必要ではないか。

答 地域経済への波及効果などを検証しながら検討していく。

住宅改修費は所得制限なしに

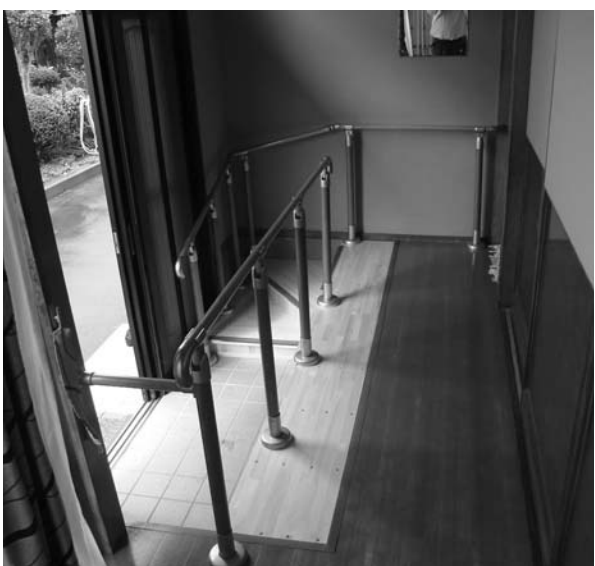
問 介護認定を受けている方のバリアフリー化の改修工事にかかる経費の一部を介護保険で給付される制度があるが、支給要件として、80万円以下の所得制限がある。中小企業の仕事起こしと利用しやすい制度とするため、所得制限なしにできないか。

答 制度の周知徹底に努めながら、現行の制度を継続していく。

学校給食は自校方式で

問 老朽化した学校給食施設の再配置計画が出ているが、自校方式の給食は「あたたかくておいしい」と喜ばれている。未来を担う子どもたちの食育には、十分なお金をかけるべきというのが市民の大きな願いではないか。

答 単独調理場は北方小学校と沼中学校の2カ所だけである。センター方式のほうが節約できる。



手すりを設置した住宅リフォーム



開通した三陸道登米・米谷間



岩淵勇一 議員

問 登米IC付近に農産物直売所を併設したPAを設置し、地場産業の振興を図ることはどうか。

答 市が事業主体の施設整備は難しいので、農産物直売所を併設したPAの設置を関係機関に要望していく。

問 登米ICを活用した活性化策は

答 国等に直売所併設PA設置を要望

問 雇用場と就業機会の確保に対応した複合施設で、新規就業者支援策としての(仮称)産業構造会館を建て、産学官一体となり恒久的な施策を

行っているのか。今、日本の経営者は工場の設置場所をどのよう

答 産業振興センター整備事業が計画されていたが、合併特例債で国・県の対象となる事業がなかった。今後取り組み機運を高めていきたい。

問 企業リスクの分散から、今後、東北地方に展開する方向であるが、市ではどう受け入れ体制をつくるのか。市の後継者が次代をつなげるような施策が必要ではないか。



南方子育てサポートセンター

問 未来を担う子ども達をどう育てる

答 保育・学校・家庭の連携で充実する



田口政信 議員

問 保育所の待機児童解消策は、どう考えるか。

答 「保育施設等整備検討委員会」を設置し、施設整備とあわせ検討する。

問 新しい学習指導要綱は「生きる力」をテーマ

問 学力向上対策の一環として、学校と家庭を結びつける「登米っ子」学習を実践しているが成果と今後の取り組みは。

問 新庁舎建設の考えは

問 報収集に努め対応したい。



及川長太郎 議員

問 22年度米戸別所得補償モデル対策の概要は。

答 この対策は、生産性の高い水田を有効に活用

問 所得補償モデル対策の概要は

答 二本立てで実施される

しながら、食料自給率の向上を図ることを基本とし、水田活用自給力向上事業と、米戸別所得補償モデル事業の二本立てで実施される。対策の主な変更ポイントは、①作物面積の実績に応じて、作物ごとに全国一律の交付単価となる。②生産数量目標の達成にかかわら

補助事業・導入事業はこれまでと変わらないか。



市社会福祉協議会事務所



浅野 敬 議員

問 策定後1年で見直しを余儀なくされた、当初の改革プランで見落とし要素は何か。

答 医師の退職と補充の困難性が想定外であった。定員管理計画、病床利用率の目標設定が、実現の可能性に遠く、高過ぎた。
問 現在の病院経営の姿は問題先送りの対処療法でしかないと映る。医療体制の中期的、長期的な姿をどう思い描くのか。
答 中核的病院の診療機

問 持続可能な医療体制をどう築く
答 地域医療が安定する経営に見直す



新たな森林づくりでCO2削減



菅原幸夫 議員

問 現在の東出張所は危険な場所であり、面積も狭く、交通の便が悪いうえ、建物の老朽化が進み、

答 消防組織体制及び消防出張所の整備計画の経過等については、北出張所を除く4出張所は昭和一刻も早い対応をすべきではないか。
答 消防組織体制及び消防出張所の整備計画の経過等については、北出張所を除く4出張所は昭和一刻も早い対応をすべきではないか。

問 消防署東出張所の改築移転を伺う
答 適地を選定し改築・移転する

47年・48年度建設で老朽化が進み修繕箇所も多く、救急業務の運用開始に伴い、勤務職員の増員などにより改善が必要で、年次計画で進めている。出張所建設事業計画では、第1順位として規模等に合う適地の選定を行っている。

市立病院の民営化必要

問 改革プランの見直し

答 医師の減少、医業収益の大幅な悪化という状況を踏まえ、現在の医療資源を活かし診療機能を確保しながら収支の改善を図る視点で行った。経営形態の見直しについては、民営化も含め、現在考えられる全ての経営手法について検討し、22年度中にそのあり方の結論を出すこととしている。各病院、診療所の経営形態の見直しも判断していく。

問 協働の市民参画推進策について

答 推進本部会議等で検討したい



遠藤 音 議員

問 協働に更なる市民の皆さんに参加していただく為に、具体的な行政の支援体制と、市民、団体

をお願いする部分を明確化したお品書きを作りメニュー化し、潜在的に協力したいと思っっている市民、団体とのマッチングを図ることにより、色々な問題解決に取り組めるのでは。
答 地域、団体等と連携した協働を見直す必要はあり、今後、部局、支所

能を強化し、かかりつけ医としての診療所の体制整備を図りながら、保健・福祉との連携を強化し、地域社会全体で安心を確保できる仕組みにする。
問 経営形態の見直しはいつ行うのか。
答 一般会計からの多額の繰り入れが余儀なくされている現況もおのずから限度があり、22年度中に民営化を含め、全ての経営手法について検討し結論を出す。経営形態を変更する場合、移行準備

作業を23年度中に行い、24年度から新経営形態に移行する。
問 24年度まで暫定存続する米谷病院の24年度以降について、公設民営化の指定管理者制度が最も現実的で有意義な取り組みと考えないか。
答 今後の医師招聘の状況や、経営の状況等を考慮し、市全体の医療体制の中で判断する。公設民営化もさまざまな選択肢の中で検討していく。



耐震工事が始まる佐沼病院

問 後期高齢者医療制度はすぐに廃止を
答 25年から新制度へ



佐藤尚哉 議員

問 保険料は少ない年金から天引きされ、75歳を過ぎると医療費がかかる

と差別される制度は廃止をすべき。見解を求める。県では保険料が月額4500円に値上げされる。約束がちがうのでは。
答 25年4月から新たな医療制度が施行される予定である。それまでは現行制度を運用したい。保険料は13・8%の増加見込みで余剰金と安定化基金を繰り入れ3・8%の



老朽化が進む東出張所（東和町米谷）

を含めた洗い出し検討をしていきたい。
二酸化炭素削減政策は

問 環境政策を具体的に

企業誘致用地に

民間遊休地活用を

進めるにあたり、企業等が排出する温室効果ガスを二酸化炭素を吸収する森林の整備等に出資し相殺を図る、いわゆるカーボン・オフセットプログラム、二酸化炭素削減の候補地としての計画推進を検討しては。
答 まず環境政策に対する意識づけを環境市民会

問 民間遊休地を企業用地として登録してもらい、進出希望企業へのマッチングプランを作っては。
答 市のホームページを活用し、空き工場の紹介もしていきたい。

増加に抑えたい。
問 社協に支援を
答 社会福祉協議会は、住みなれた地域の中で暮らし続けたいと願う市民が支え合う団体である。さらなる支援を願う。

農業振興条例の制定を

問 これからの食料・農業・農村・山村を条例で作って振興を。
答 条例を根幹とする振興に取り組まなければならないと認識している。



蓮堤沼 (米山町中津山)



関 孝 議員

問 長沼フットピア公園の利用者が、18年度と比較し、約6万人減少している。回転することの少

問 観光地再生、風車はなぜ回らない？
答 微風でも回転が可能状況に修復

ない風車に不満の声を耳にする。改修中のかやぶき住宅「ふるさと館」を有効活用するなど、新たな取り組みで再生を図れ。
答 風車は老朽化により、風を受ける帆の部分が多くなるなど、修繕が必要。今回、観光整備事業で修復したい。ふるさと館は、児童生徒等の学習や創作



改築を待つ佐沼小学校校舎



八木しみ子 議員

問 商工業や市内企業への支援策、雇用機会の拡大策、自殺予防対策等の具体的な取り組みは。ど

問 経済不況・失業、本市の打開策は
答 緊急雇用対策と新たな企業の創設

のような対策で不況を乗り切るのか。構造改革で生じた地域の崩壊や貧困層の拡大、医療、福祉までが崩れ不安が増している。調和の取れた地域社会の再構築に向けた考えを伺う。
答 中小企業振興資金の融資枠拡大と返済猶予等、融資条件を緩和し経営の

安定化を支援している。商店街の空き店舗を活用した地域商品の産直や配達事業にも取り組む。市内企業への支援策は受注機会の拡大に向け、企業活動支援事業を創設、ビジネス商談会等を実施することとしている。
雇用対策は、緊急雇用促進奨励、離職者技術取得支援給付、高卒者就職促進交付金事業を実施。緊急雇用創出事業等は、県や国の配分金で22年度も雇用拡大を図る。

本市の自殺率は高い。多重債務無料相談等を弁護士等と連携し、積極的支援を行う。地域社会の再構築はそれぞれの地域の潜在力が発揮できる仕組みづくりと、協働を基本に取り組み考えた。
職員倫理条例について
問 条例制定への考えは。
答 多くは利害関係者の禁止項目を制定している。不祥事防止への機能等、先例を検証し検討する。

緊急雇用募集チラシ



阿部正一 議員

問 佐沼小学校の建築位置について
答 変更の考えはない

問 佐沼小学校の改築については、大変危険な校舎であり、大規模改修ではなく改築をと強く要望

してきた。今回、改築に計画を変更され感謝している。計画では幼稚園・児童館の後ろに位置しているが、幼稚園と児童館は建物の間になり、環境が悪くなる。校舎位置を変更する考えはないか。また、狭く感じている幼稚園・児童館も同時に改築してはどうか。

問 今後の見通しは
答 政権交代により、長沼ダム工事、西館地区道路整備、高規格道路築館登米線等に影響はないか。特に、東北道からの早期開通は本市の経済に大きな影響を及ぼす。早期開通に今までの努力をすべきと思うが。

問 財政計画では、病院会計に21億円を繰出すとあるが、地方交付税の中から繰出す額はいくらになるか。また、産婦人科、小児科の開業の話があった場合の支援等は考えているか。
答 9億2300万円となる。開業医招致支援については検討させていた

問 旧嵯峨立小を自然学校に
答 市民からの提言がある。自然体験活動の場として、屋外での自然観察、山菜採り、りんご・長いも・きのこ栽培や収穫、炭焼き体験など、地域の方々のご指導をいただき、自然学校にはどうか。
問 何よりも自然とふれ合い、人とふれ合う喜びを、連携の中で具現化できれば素晴らしいと思う。

検討課題はその後どうなったか
問 消防・救急車が入れない市道の調査と整備は。
答 課題のある箇所が多い。円滑な消防活動ができるよう整備に取り組む。
問 大崎市民病院への公共交通の調査、研究は。
答 直通バスを、1日往復2便運行した場合、年間2000万円程度の運行経費が必要。公平性、市内医療機関に与える影響から、実現は困難である。



長沼フットピア公園

問 蓮堤沼の今後の活用方策は
答 地域の意見等を聞き活用策を検討



武田節夫 議員

問 米山地内にある蓮堤沼の今後の活用方法は。
答 一部貸付地があることから、最も効率的な造

問 産業振興の具体策は
答 市政運営の基本方針

問 公共事業について
答 合併して5年経過した。入札基準、ランク毎

問 最低制限価格制度の検証と確立は。
答 仙台市と一部の市を除くほとんどが低入札価格調査基準値を準用した最低制限価格制度を導入している。このことから国の動向、隣接市の対応、行政運営の原則を基本としながら判断していく。

常任委員会

会活動報告

総務企画委員会

◎12月14日調査

情報システム管理状況について

導入から21年度まで、12億6000万円の経費がかかっている。来年度はシステムの更新時期であり、業務の効率化、高度化の実現を目指しているが、専門職の要請も視野に入れるべきである。

◎1月22日調査

財政見直しについて

22年度一般会計予算額405億900万円、義務的経費は全体の50%、投資的経費は10・8%という状況にある。病院への繰出しの見通しで、財政上は上限額ということから、病院内部の自助努力が必要である。

協働のまちづくり事業審査状況について

地域型、全市型、地域計画型に加え、21年度にパートナーシップ型の追加で実施してきた経緯が

教育民生委員会

◎12月14日調査

請願審査について

・旧善王寺小学校の活用を求める請願

旧善王寺小学校の現地調査を行う。継続審査とする。

・産業廃棄物処理施設の設置中止を求める請願
施設の建設に反対し、地域の生活環境を守るという願意は妥当と認め、採択した。

◎2月2日調査

請願審査について

・旧善王寺小学校の活用を求める請願

グリーンツーリズムの關係で類似施設の実施例を確認。請願の趣旨は理解するが、施設整備など予算が伴うため、再度請願者に確認する必要がある。継続審査とする。

登米市立病院改革プランについて

プランの見直しは、医師、患者数、医業収益の

議会の動き

12月

25日●議会改革調査特別委員会

1月

7日●議会報編集特別委員会

●議会主催新春講演会

8日●産業経済委員会

12日●議会改革調査特別委員会

18日●秋田県横手市議会広報委員会行政視察で来庁

●議会改革調査特別委員会行政視察(20日まで)

21日●議会報編集特別委員会

22日●総務企画委員会

28日●建設水道委員会

1日●議会運営委員会

●議会改革調査特別委員会

2日●教育民生委員会

4日●2月定例会開会(3月2日まで)

●議会改革調査特別委員会

10日●建設水道委員会

12日●議会運営委員会

●総務企画委員会

23日●4委員会開催(総務企画・教育民生・産業経済・建設水道)

3月

1日●議会運営委員会

5日●建設水道委員会

11日●地域医療確立調査特別委員会

●議会改革調査特別委員会

15日●三陸自動車道登米IC～米谷IC間の視察

17日●教育民生委員会

18日●議会報編集特別委員会

23日●産業経済委員会

24日●議会報編集特別委員会

26日●地域医療確立調査特別委員会

29日●議会改革調査特別委員会

30日●第1回臨時議会運営委員会

産業経済委員会

◎12月14日調査

地域別最低賃金の引き上げを求める陳情について

現在の最低賃金は、生活保護の給付額を下回るため、早期解消が必要。地域産業の振興も合わせ、意見書提出を採択した。

改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書について

改正法は、総量規制の導入や上限金利の引き下げを残すのみとなっており、早期実施を求める意見書提出を採択した。

緊急経済・雇用対策について

この厳しい経済状況の中、国の経済対策活用はもちろん、市単独でも雇用創出に全力で取り組むべきである。

◎1月8日調査

戸別所得補償、自給力向上事業について

政権交代により農政の



新他用途米実証試験田(迫町北方)

建設水道委員会

◎12月14日調査

雇用促進住宅「迫宿舎」の現地調査について

雇用促進住宅5団地を約1億9500万円で購入し、定住促進住宅として設置した。

各部屋とも日当たりも良く良好に管理されていた。今後は、入居率の向上と住宅の長寿命化が必要である。

長沼川改修事業の概要について

用地買収はすでに完了されているが工事がなかなか進んでいない。県としっかり連携を図り早期の整備完了が必要である。

◎1月28日調査

下水道施設の管理状況について

市内の4浄化センターの調査を行った。施設の管理業務は委託先が異なるが、各施設とも適正に管理されていた。今後の課題は包括的な



浄化センター

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

新しい故郷に生きる



こうとく 孝徳さん (東和)

私は、縁あって東和町米谷に来て約2年になります。2年という短い間ですが、気づいた点を挙げたいと思います。

一つは、歩道が足りないという事です。最近、登米東和インターが開通された事もあり、交通量が以前より増えたように感じられます。しかし、歩道の整備が行き届いておらず、特にインター近くには学校もあるので、大変危険です。高齢者の方々も多く住んでいる地域なので、歩道の整備をお願いいたします。

それから、医療の充実を期待します。熊本の知人に聞いた話ですが、登米市は小児科医療が全国でも有名な医療過疎地だそうです。安心して子育てができ、お年寄り達にやさしい町になるため、そして私達若者がずっとこの町に住みたいと思えるような町になってくれる事を願います。

議会改革調査特別委員会

行政視察報告

百聞は一見にしかず



議会改革調査特別委員会では、1月18日から20日の日程で、議会改革に先進的に取り組んでいる市議会を調査するため、行政視察を行った。

三重県四日市市議会

○議員提案による政策条例について
○市議会モニター制度による議会への市民参画の推進について

地方分権一括法の施行により、提案権が議会にも与えられたことを契機に、これまで7件の政策条例の制定、改正に取り組み、さらに、市民との共通認識を図るため、公聴会や議会モニター等を導入。また、議員同士の政策に対する意見交換

換会を実施している。

三重県伊賀市議会

○市議会基本条例について
○議会報告会及び政策討論会の運営と効果について

議会の役割と責務を議会基本条例で明確化し、市民との情報の共有を図るために議会報告会を実施。さらに、議会が重要政策について、共通認識を図るため、政策討論会を実施するなど、これらを条例で明文化している。

滋賀県甲賀市議会

○議会改革特別委員会の検討内容及び項目の概要について
○議会改革に対する市民の反応について

改革の行程表をつくり、スケジュール管理することにより実績を上げている。

地方分権を迎えた今、地方議会も大きく変革を遂げることが求められている。今回の視察を通して見えることは、我が登米市議会も早期に、地方分権対応型議会に機能構築を図る必要を迫られていることである。

人事 教育委員会委員任命の同意

教育委員会委員任命につき議会の同意を求められ、同意しました。
教育委員会委員 橘 智法さん (津山町横山)

第1回臨時議会

平成22年第1回臨時議会が、3月30日に招集され、1日間の会期で開催しました。

財産の処分について

三陸道登米志津川道路工事に伴う、東和町米谷地内の土地・立木を処分することについて提案され、起立採決の結果、起立多数で可決しました。

意見書を提出

公益に関わる意見書案が提出され、審議の結果可決しました。内閣総理大臣はじめ関係行政庁に送付し、その実現を要望しました。

- ・国として直接地方の要望等を聴く仕組みを保障することを求める意見書
- ・核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

請願審査結果

請願審査結果が提出され、審議の結果委員長報告のとおり不採択としました。

- ・旧登米市立善王寺小学校の利活用を求める請願 **不採択**
- ・東和町米川七区集会所、敷地取得に関する件 **不採択**

健康が一番

私の住んでいる地域も他の地域と同じように独居老人・中高年夫婦・一人暮らしの世帯が多くなり、子どものいない家庭が増え、地域に子どもの声がない家が増えて、若い人の姿が見えない高齢化社会となつてきております。

地域社会間のかかわりが希薄になってきているように感じられます。行事に積極的に参加し、参加してもらい、お互いに知り合うことが地域づくりの第一歩と思っております。素直な心で人に接し、人の長所を見つければ、他人に優しく付き合える人たちが増えることを願っています。

いつもと同じ毎日を通り越せることが一番の幸福。それには「健康第一」。自分の健康・家族の健康・地域の健康のために検診・医療体制・保健教育の充実を期待します。一度だけの人生、今を大切に和やかに生きたいと思っております。



しろとり 白鳥しげおさん (南方)

登米市に望む



さとう 佐藤タキ子さん (石越)

石越に嫁いで30年が過ぎました。地域の方々に誘われ、公民館の行事などに参加することにより、世代を超え、たくさんの方と親交を持つことができました。子供たちも多くの仲間と活動し、成長させていただきました。

今、行政・地域活動ともに大きな変化が起きています。私たちも変わらなければいけない時期に来ているように思います。行政や議会に関心を持ち、時には柔軟な気持ちで、時には厳しい目で、見守りたいと思います。

若者が地域活動に興味を持ち参加して、意見交換ができ、子供たちが未来に大きな夢を持てるような登米市になることを期待しております。